

# 平成27年度事業報告

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

## [ 総括 ]

- # 平成27年度収支決算の結果は、収入264,664,309円に対し、支出は270,573,390円で10,331,959円の赤字を計上しました。その結果、正味財産の期末残高は63,776,899円となりました。
  
- # 公益目的支出計画については、法人移行時の公益目的財産額が73,485,698円であったのに対して、27年度の実施額は33,184,451円、今期末の段階で、公益目的財産残額は、6,745,926円です。
  
- # 事業内容を展望すると、自治体が保有する消防自動車、救急車、塵芥収集車などを整備し直して開発途上国に贈与する、いわゆるリサイクル援助事業が順調に拡大しており、27年度は21件、17カ国に75台贈与することができました。事業規模は161,821,420円に上ります。  
また在外公館施設の保守管理事業については、27年度分入札のうち1案件を受注した結果、継続案件を含め、14公館に技術者を派遣しました。事業規模は51,942,691円でした。
  
- # 安定的な経営状態を確保するためには、①一般社団法人として財政の基礎となる法人の会費収入が管理費のわずか10%未満という現状を改善すること。②途上国へのリサイクル援助事業の更なる拡大発展を図ること。③公益法人として相応しい新規事業の起業につとめること。そのために民間有志からスポンサーを募って資金調達をはかること——が喫緊の課題であります。

[ 公益目的事業／継続事業 ]

1. 国際知識に関する普及及び調査研究事業

# 月例講演会の開催 — 国際情勢の研究と外交政策の広報

原則として毎月一回、日本記者クラブにおいて国際問題講演会を開催している。講師は主として外務省の幹部を招いて実施しており、外交政策の普及に努めている。27年度の開催実績は下記の通り。

【平成27年度】				
日付	例会名	講師 役職	講師氏名	演 題
4/13	4月例会	外務省 国際協力局 政策課長	高杉 優弘氏	新しいODA“開発協力大綱”について
6/10	6月例会	外務省 北米局 北米第一課長	石月 英雄氏	深化する日米関係 —安倍首相訪米の成果について—
7/22	7月例会	防衛省 防衛大臣政策参与 (前統合幕僚長空将)	岩崎 茂氏	制服組から見た安保法制
9/11	9月例会	駐イラン特命全権大使	小林 弘裕氏	イラン核合意の波紋
10/21	10月例会	内閣官房 TPP政府対策本部首席交渉官	鶴岡 公二氏	TPP交渉を振り返って
11/20	11月例会	駐ギリシャ特命全権大使	西林 万寿夫氏	ギリシャとEUの課題—債務危機と難民
1/18	新年例会	外務省事務次官	齋木 昭隆氏	変貌する国際情勢と日本の外交
2/17	2月例会	外務省中国・モンゴル第一課長	有馬 裕氏	最近の中国情勢について

# 公開特別セミナー

2月22日、港区の機械振興会館ホールで朝鮮半島政経塾塾長、ロー・ダニエル氏による一般市民向け無料講演会「し烈さを増す米国での日中韓ロビー合戦」を開催。約100人が参加した。

2. 在外公館支援に関する事業

外務省の入札案件であるが、当協会の恒例事業となっている。

# 在外公館施設におけるエンジニア派遣業務 2件を受注

27年度は、計14名のエンジニアを14カ国（14公館）に派遣している。

派遣実績・国名及び公館名：

【アジア】（1公館）韓国：韓国大【中南米】（1公館）ジャマカ：ジャマカ

【欧州】（1公館）タジキスタン：タジキスタン大【アフリカ】（11公館）コンゴ（民）：コンゴ（民）大、エチピア：エチピア大、マラウイ：マラウイ大、アンゴラ：アンゴラ大、アルジェリア：アルジェリア大、ジブチ：ジブチ大、モリタニア：モリタニア大、マリ：マリ大、チュニジア：チュニジア大、ボツワナ：ボツワナ大、ルワンダ：ルワンダ大

3. 海外援助に関する事業

## # リサイクル援助

日本国内で役割を終えた消防自動車や救急車、塵芥収集車などを自治体から譲り受け、整備し直して開発途上国に寄贈している。

27年度は別表のとおり、17カ国に21件、74台の車両を寄贈した（内訳：消防車36台、はしご車1台、救助工作車3台、救急車16台、塵芥収集車12台、図書館車7台）。その他資機材としては、病院の医療資機材一式を送ることができた。また、このうち4案件については機材到着時に技術者を派遣して短期研修を行う。

（表内、\*印は短期研修を実施）

国名	契約時期	要請団体	提供機材
ミャンマー	H27年5月	マンダレー工業省	消防車1台
ペルー	H27年5月	ペルー義勇消防隊	消防車1台
エルサルバドル	H27年9月	エルサルバドル消防隊	救急車2台、消防車3台
南アフリカ共和国	H27年11月	SAPESI/NGO	図書館車7台
ブータン	H27年9月	民間航空局（パロ空港）	救急車2台
マラウイ	H27年9月	セント・アン病院	救急車2台
ケニア共和国	H27年12月	ニャンダルア郡	消防車1台
ケニア共和国	H28年2月	ラム郡	消防車1台
ケニア共和国	H28年2月	キアンプ郡	消防車1台
コンゴ共和国	H28年3月	ポワントノワール市	*消防車5台、救急車1台・水槽トレーラー1台、スペアパーツ1式
モンゴル	H28年3月	国立外傷病院	病床用ベッド74台、手術台2台、診察台6台、担架14台、サイドテーブル15台、点滴台25台、渦流浴足用器1台、トレッドミル1台、エルゴメーター1台、平行棒2台
モンゴル	H28年3月	ウブス県病院	救急車1台
フィリピン	H28年3月	フィリピン消防局	救急車7台、消防車9台、救助工作車1台
チリ	H28年2月	サグラダファミリア消防隊	救助工作車1台
スリランカ	H28年3月	コロンボ市	*塵芥収集車12台
パキスタン	H28年3月	カラチ市	*はしご車1台、救助工作車1

			台
パラオ	H28年3月	アングウル州	*消防車2台
アルゼンチン	H28年3月	カルピンテリア市	消防車1台
ウルグアイ	H28年3月	ウルグアイ消防局	消防車4台
ジャマイカ	H28年3月	セントエリザベス市	消防車4台
ジャマイカ	H28年3月	カリブ海事学校	消防車3台、救急車1台

### # 人材育成事業（企画）

日本から寄贈した特殊車両などの資機材を、安全かつ効率的に、長く使用してもらえよう、人材育成・能力開発に特化した事業に、新企画として取り組んだ。本事業については、公益財団法人JKAの公益事業振興補助を受け、「開発途上国における防災技術分野の人材育成と国際交流の推進事業」として実施した（補助率 2/3）。これまでに当協会リサイクル援助事業で 30～50 台の寄贈実績がある国で、かつ技術指導の効果があると見込まれる国として、ラオス、ミャンマー、ザンビアの3カ国に対し、それぞれ消防技術およびメンテナンスの専門家3名を派遣、2～3週間の研修を行った。講師陣の活躍により、各国ともに受け入れ機関の評価は高く、ぜひ継続してほしいという要望が出ている。講師からも、事業の意義と手応えを感じたというコメントが寄せられた。

### # 国際コンサルタント業務に関する懇談会

外務省国際協力局の幹部と国際開発コンサルタント業界との意見交換会を年数回の割合で実施している。ODAを効率的かつ効果的に実施するため、途上国のニーズに関する情報交換や援助の進め方について議論が交わされている。

### # 翻訳事業

平成27年度も地方自治体、公益団体、企業、個人などから翻訳業務を受託した。受注言語としては英語、中国語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語があり、前年度に比べ校閲の依頼が若干増加した。受注内容としては広報資料、会議資料、技術マニュアル、公文書（レターなど）があった。

### [ その他の事業 ]

#### # 機関誌「日本外交協会報」の発行

日本外交協会の会報は、例会の行われた月に講師の講演内容を中心に編集し

て発行している。外交は国民の支援と協力があっではじめて成果をあげることができるという観点から、可能な限り外務省の政策広報に力を入れている。配布先は外務省、在外公館、自治体、関連団体など。

#### # 学生会議、シンポジウムなどへの後援、協力

日ロ学生会議、日韓学生会議など二国間の学生が一同に会して議論し、友好を高める活動を設立以来、支援しているほか、国際交流団体などが実施するイベントを支援している。

以上